

企業内エキスパート育成プログラム

【JTA/TOCPA School】

TOC Applications Practitioner Program
-TOCAPP for BREAKTHROUGH GROWTH-

様々な産業やビジネスにおいて、日々変化する現実の運用環境に制約理論を実装するための知識体系や導入能力の専門性を伝え、高めるための包括的なマルチモジュール TOC プログラムです。

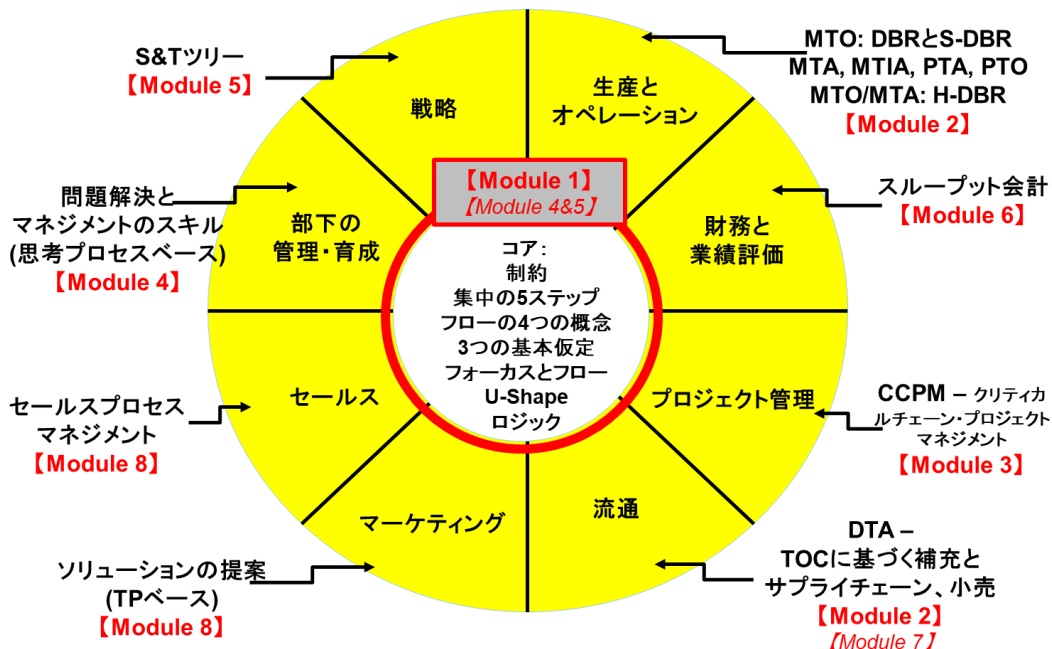
TOCAPP (TOC アプリケーション・プラクティショナープログラム) は、最新技術やインダストリー4.0 のフレームワークにおいて変化するビジネス環境に、制約理論を適用するための知識体系や実装上の専門性を、システムチックに高め、移転することを狙ったものです。

飛躍的な成長を目指した TOCAPP は、包括的なマルチモジュールプログラムです。全てのプログラムは2日から6日間の複数のセッションから構成され、約30日間の講義から成り立っています。本プログラムは筆記認定試験(終日)で締めくくられます。全てのTOCAPP(全モジュール)を修了し、筆記認定試験に合格した方には、TOCPA スクールの国際認定資格(TOCAPP for BREAKTHROUGH GROWTH)が付与されます。

一つ、またはいくつかのプログラムを限定的に受講したいという方も、ご関心分野に応じて、関連性のあるモジュールにご参加いただくことが可能です。一つ、またはいくつかのモジュールに参加された方にも参加証明書を発行いたします。各モジュールは、変化していくビジネス上の運用環境において、オペレーション、流通、プロジェクトマネジメント、セールス&マーケティング、人材・チェンジマネジメント、戦略と戦術といった TOC ソリューションを実際に適用できるよう、実装上の専門性を共有させていただきだけでなく、関連する適用領域に応じた TOC の知識体系や仕組みを現場へ移転することを目的としています。

TOCAPP の受講者は、ソリューションと導入のためのガイダンスが示されている詳細な教材を受領することができます。各モジュールは、インタラクティブな形で行われ、実装上の特定の問題に自ら気付いていただくことを目的として、参加者の集中的な参画を求める形で進められます。各モジュールでは、シミュレーターを用いたワーク、実践的な演習問題の解決、計算演習、実際のビジネス環境に基づいた経営的な意思決定の演習を行います。

モジュールの構成と所要日数は以下のとおりです。



モジュール	所要日数	概要
基本モジュール		
モジュール1	2	制約を軸にしたマネジメント 【必須モジュール】
モジュール2	2+2+2	サプライチェーンの整合をとる
モジュール3	2+2	クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント
モジュール4	4+2	TOC思考プロセス
モジュール5	4	(ソリューション導入前) 現状分析 (CRS) の実行
	1	プログラム認定試験 (筆記)
オプションモジュール		
モジュール6	2	スループット会計と経営判断のためのローカル運用指標
モジュール7	2	小売のためのTOCソリューション
モジュール8	2	マーケティングとセールスマネジメント

受講料 70,000 円/日 (税別) *JTA 会員は 63,000 円/日 (税別)

[受講要件について]

※ 原則として、モジュール1を修了していることがモジュール2以降の受講要件となります。

※ 原則として、モジュール2または3のいずれかを修了していることが、モジュール4ならびにモジュール5の受講要件となります。

- 講義時間 10:00-17:00 (モジュール1のみ 9:30-17:30 となります)
- オンサイト開催については個別相談を申し受けます。

各モジュールの概略

<基本モジュール1-5>

モジュール 1: 制約を軸にしたマネジメント (2日間)

Managing through Constraints

【必須モジュール】

- U-Shape : 問題分析と解決策構築のための包括的フレームワーク思考
- TOC の「3つの基本仮定」
- フローの特性 : 依存性と変動
- 「制約」の考え方
- システムでは制約がガイド役となる
- 制約の種類
- 制約の場所を特定するアルゴリズム
- 制約を軸にしたマネジメントとは実務上どういう意味か
- 「集中の5ステップ」: TOC を用いたマネジメントの意思決定方法
- TOC の考え方を実際に適用する : シミュレーションを用いた演習
- ビジネスのフロータイプと供給形態
- システムを分析する - 製造システムを題材に
- フローの考え方 : 在庫とリードタイムそして生産性の関係
- 「フローの4つの概念」

モジュール 2: サプライチェーンの整合性をとる (2日間×3回)

Aligning the Supply Chain

MTO, MTA, PTA, DTA - TOC Replenishment Solution

Data Analysis and Modeling

- サプライチェーンを管理するための TOC の考え方について理解を深める
- 生産管理の考え方と技法、様々に異なる生産フロー/環境においてそれらを適用した際の影響について(シミュレーターを用いた演習)
- MTO (Make to Order - 受注生産) の考え方とその解決策の詳細
 - 8つのインジェクション、それぞれのエッセンスと仕組み
- MTO で用いる評価指標の重要課題、導入時における典型的な課題
- 自社の生産計画/実行管理の現行のやり方と MTO の解決策の整合性を取る上での実務上の課題
- MTA (Make to Availability - 在庫生産) の考え方とその解決策の詳細
 - 8つのインジェクション、それぞれのエッセンスと仕組み
- MTA で用いる評価指標の重要課題
- 自社の生産計画/実行管理の現行のやり方と MTA の解決策の整合性を取る上での実務上の課題、在庫生産を行う様々な企業から得た重要な教訓、MTO と MTA の混合環境の取扱い
- 生産フローにおける資材管理 - 解決策 PTA (Purchase to Availability) と MTIA (Make to Internal Availability) のインジェクション
 - TOC 補充ソリューションの考え方と仕組み
 - DTA (Distribute to Availability) の 10 のインジェクション、エッセンスと仕組み
- 異なる消費プロファイルに対して在庫バッファの目標レベルを計算する際の課題
- SKU の品揃えに関する意思決定
 - キャッシュをキャパシティ制約に見立てる
- DTA の解決策を社外の下流リンクに展開する際の課題と潜在リスク、DTA 導入において注意が必要なエリア
- MTA と DTA を結合する環境における導入の実務的課題
- 演習と計算実習
- 下流のディストリビューションを管理する
- データ分析とモデリング

モジュール 3: クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント (2 日間×2 回)
CCPM – Project Management the TOC Way

- クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント (CCPM) の概念と仕組み
- 価値創造のためのプロジェクトマネジメント
- CCPM における9つのインジェクションー要素と仕組み/シミュレーション演習
- CCPM の導入における実務上の問題
 - 企業における経営判断を CCPM に基づいて行えるようにするための課題
- プロジェクト予算とマネーバッファの問題
- マルチプロジェクト環境における CCPM の概念と仕組み

モジュール 4: TOC 思考プロセス (2 日間×3 回)
TOC Thinking Processes

TOC Thinking Processes TOC 思考プロセス

- システム分析と解決策の策定のために
- 経営上のジレンマに対処するために
- リスクを評価し、軽減するために
- 戦略と戦術を策定するために
- 問題を特定し、解決策を見つけるプロセスのための TOC ロジカルツール
- 異なる種類のクラウド、それらのトリガーと構築の流れ
- 仮定(アサンプション)を引き出すためのプロセスと仕組み
- 顕在化した仮定(アサンプション)に関する典型的な間違い
- 仮定の有効性を確立する、そしてチェックするための4+2ルール
- 仮定(アサンプション)を検証し、インジェクションを構築するプロセスにおけるヒント
- UDE と UDE クラウド作成上の典型的な間違い
- 適切な UDE と UDE クラウドを構築するためのルール
- UDE クラウドの統合 – 統合プロセスにおけるルール
- 主要なネガティブブランチとポジティブブランチの前提
- 現状構造ツリー、未来構造ツリー
- 障害への対処 – 野心的な目標に到達するために
- 前提条件ツリーと移行ツリーの概要
- 戦略と戦術(S&T)ツリーの構築

モジュール5: (ソリューション導入前) 現状分析(CRS)の実行(4日間)
Before the Implementation - Conducting Current Reality Study of the
environment and working with Strategy and Tactics Trees

- 現状分析 (CRS) の目的
- 現状分析 (CRS) の際に何を質問すべきか、データをどのように解釈すべきか、企業に適用するロジスティカルソリューションのタイプをどのように見分けるか
- 異なる種類の S&T ツリーとそれらの目的
- 移行 S&T-目的や構造をいつ使うか、移行 S&T の構成要素を満たすための実践的なヒント
- コンテンツ S&T-目的や構造をいつ使うか、コンテンツ S&T の構成要素を満たすための実践的なヒント
- 組織的な S&T-目的や構造をいつ使うか、組織的な S&T の構成要素を満たすための実践的なヒント
- TOC 導入における新しい手続きの必要性を説明するために S&T ツリーパターンを使用する

■本プログラムに関するお問い合わせ先

一般社団法人日本 TOC 協会 <https://japan-toc-association.org/>

e-mail: jimukyoku@japan-toc-association.org

**モジュール 6: スループット会計と経営判断のためのローカル運用指標
(2日間)**

Throughput Accounting and Local Operational Indicators for Managerial
Decisions

- TOC 運用上の測定指標を適用する上での実務上の問題点
 - 意思決定のためのスループット (T)、投資 (I)、操業経費 (OE)
- スループット計上ポイントの決定に関する課題
- 論理上のバッファとマネーバッファの関係
- 典型シナリオの演習
- 実装時の実務的な問題として、TOC ロジスティカルアプリケーションのためのローカル運用指標を策定する

モジュール 7: 小売のための TOC ソリューション (2日間)
TOC Solution for Retail

- 小売のための TOC 補充ソリューションの概念と仕組み
- 異なる消費特性に対する在庫バッファの目標レベルを計算する上での課題
- TOC を用いたカテゴリーマネジメント
- 演習と計算

モジュール 8: マーケティングとセールスマネジメント (2日間)
Marketing and Sales Management the TOC Way

- TOC の側面から見たマーケティングとセールスの役割
- 市場セグメント
 - 顧客ポートフォリオの構築と顧客セグメントにおける中核問題の決定
(顧客 UDE と UDE クラウドの取扱い)
- 価値提案 (マフィアオファー) と営業ソリューションの概念
- 価値提案のための主要な TOC テンプレート
- コンバージョンと営業プロセスを管理するために時間バッファとリードバッファの組合せを使用する
- 受注処理からアクティブセールスに転換する際、セールスマンが抱える課題
- 営業プロセスにおけるローカル運用指標 (LOI) 実装後に営業マンの評価指標を変更する必要性

■本プログラムに関するお問い合わせ先

一般社団法人日本 TOC 協会 <https://japan-toc-association.org/>

e-mail: jimukyoku@japan-toc-association.org